

令和2年度市民活動感謝状の受賞者を紹介します。

市民活動推進課 ☎ (93) 1117

織田 邦彦さん

地域の環境美化に努めています



町内の方から声がけされたのをきっかけに草刈りを始め、平成27年から日吉台1丁目地域の公道・緑道・公園の除草作業を有志に呼びかけて月1回実施しています。また、日頃から個人でも地域の環境美化にも努めています。

除草作業時には飛び石防止がある草刈り機を使用し、早朝は機械音を考慮して鎌で除草作業を行うなど、周辺にも配慮しながら活動しています。

○今後の抱負など一言

人手が足りない状況で、今後も継続して活動していくためにも、自治会により除草作業スケジュールを掲載するなどして積極的に声がけをし、活動に参加してくれる人を増やしていきたいです。

また、地域のゴミ問題にも引き続き取り組んでいきたいです。



村松 彰さん

アダプトプログラムに参加したことをきっかけに、平成25年から日吉台1丁目地域でポイ捨てのゴミ拾いや、公園や通学路、大通り沿いの植樹帯に季節の花植えを実施しています。また、日々天候を考慮しながら水やりを行い、地域の環境美化に努めています。

活動中、労いの声がけをいただいたり、きれいになった公園に集まる子ども達を見ることをモチベーションに、楽しく活動しています。

○今後の抱負など一言

後継者不足を解消し、この活動が今後も続くよう積極的に声がけしていき、これからも仲間と楽しく活動していきたいです。



渡瀬 英雄さん



平成27年から日吉台第2公園の環境整備・維持のため、自走式草刈り機の寄贈や、テーブルベンチの設置、自己所有する重機で砂場の整備などを行っています。町内の方からの声がけで美化活動を始め、月1回の草刈りの他、状況に応じて個人でも公園の環境美化を実施しています。公園で遊ぶ子どもたちが転ばないように、木の根を重機で除去をするなどし、安心して遊べるようにしています。

○今後の抱負など一言

活動を始めた6年前に比べると、子ども連れの方々が公園を訪れることが増えてきて、子ども達が笑顔で遊ぶ姿に、公園を整備することのやりがいを感じています。自分ひとりでは活動を続けることは難しく、一緒に活動する仲間がいたから続けることができました。

これからも、子ども達が安心して遊べるように公園等の整備に関わっていききたいです。



市長コラム vol.1

— Message from the mayor —

市民に求められる行政の姿

市民起点 ―それは、行政の立ち位置から市民の皆さまを考えるのではなく、「市民の皆さまと同じ立場に身を置き、物事を考える」こと―

新型コロナウイルス感染症では、市民の皆さまの感染拡大防止へのご協力が心から感謝いたします。現在、国は、コロナ感染予防に傾注し、その切り札としてワクチン接種に力を注いでいます。

富里市でも、二転三転する国の方針に困惑しながら、「安心そして速やかに」を念頭に、市内医療機関との調整や集団接種訓練の実施など、万全な体制の構築を目指した一方で、国が示すワクチンの配分計画では、年代別などで区分し、段階的な予約から始まり、接種へ移行せざるを得ない状況となっていました。

市民の皆さまから見れば、接種はもちろん、早くに予約ができる

ことが「心の支え」になることから、富里市はワクチンの確保をはじめ、接種体制の仕組みを精査し、一斉の予約の開始、そして接種へと移行しました。

これらの市独自の判断ができたのも、医療機関の協力はもとより、行政の考えに捉われない、「市民起点」がもたらしたものと考えます。

行政改革とよく言われますが、市民起点があればこそ、実のある改革へとつながることからも、今後はさらに、「市民起点」を重んじた市政を実践していくことで、真に市民の皆さまに求められる、行政の姿に近づけることが大切であると思っています。

富里市長 五十嵐 博文